

ヒト由来シチジンデアミナーゼ、組換え

Cat. No. NATE-1668

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明

CDA（シチジンデアミナーゼ）は、UMP合成のために外因性および内因性のシチジンと2'-デオキシシチジンを取り込む酵素です。このタンパク質は、細胞内のピリミジンプールを維持するために責任を持ついくつかのデアミナーゼの一つです。このタンパク質は、Ara-Cや5-アザシチジンなどの化学療法用シトシンヌクレオシド類似体の脱アミン反応も触媒し、その結果、細胞毒性および抗腫瘍機能の喪失を引き起します。ホモテトラマーを形成することができ、主に好中球で発現しています。N末端にHisタグを融合させた組換えヒトCDAタンパク質は、E.coliで発現され、従来のクロマトグラフィーを用いて精製されました。

別名

CDA; CDD; シチジンアミノヒドロラーゼ; シトシンヌクレオシドデアミナーゼ

製品情報

種

人間

由来

E. coli

形態

液体

製剤化

10 μlを50 mMリン酸カリウムpH 7.4、50 mM塩化ナトリウム、0.5 mM DTT、0.5 mM EDTA、及び2.5%グリセロールに入れます。

EC番号

EC 3.5.4.5

分子量

18.3 kDa (166 aa, 1-146 aa + His Tag).

純度

> SDS-PAGEによる90%

活性

> 3.5 単位/ mg

単位定義

1単位の活性は、25°CでpH 7.5の条件下で1.0 μmoleのシチジンを脱アミノ化するのに必要な量として定義されました。

保管・発送情報

保存方法

短期間（1-2週間）で4°Cに保存できます。長期保存の場合は、分注して-20°Cまたは-70°Cで保存してください。繰り返しの凍結と解凍のサイクルを避けてください。